

科目ナンバー	SEM-3-004-ky			科目名	課題演習II（大森）		
教員名	大森 昭生			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	<p>ジェンダー／男女共同参画へのグローバルアプローチ</p> <p>1979年、女性差別撤廃条約が国連で採択されました。ジェンダーの問題はグローバルな問題です。しかし、日本は1985年までその条約を批准することができませんでした。ドメスティックな問題を克服できていなかったからです。ジェンダーは、グローバルな課題でありながら、極めてローカルな、あるいは個人的な問題でもあります。ジェンダーを考えることは、すなわちグローバルを考えることになります。また同時に、環境問題と同じように、世界規模の視点を持ちながらも、それぞれの地域特有の課題を解決しなければならない、まさに、Think Globally, Act Locallyが求められるテーマです。</p> <p>2015年に国連サミットで採択された持続可能な開発目標、いわゆるSDGsの17の目標の5番目にジェンダーが挙げられています。しかし、17の目標のうち、①貧困、②飢餓、③保健、④教育、⑧成長・雇用、⑩不平等、⑪都市、⑫生産・消費、⑯平和は、実はジェンダーと密接な関係があり、ゆえにSDGsを達成するためにはジェンダー平等を達成しなければいけないといっても過言ではありません。</p> <p>このゼミでは、ジェンダーという概念を中心に据えて、世界の様々な課題について探究し、群馬・前橋といった地域を住みよいまちにしていこうための男女共同参画社会づくりや課題解決実践を志向したいと思います。</p>						
到達目標	<p>ジェンダー／男女共同参画という社会課題に係る知識を身につけるとともに、その課題を通して社会へのアプローチを主体的に考えることができる。</p> <p>共生のための社会の諸課題について、知識を組み合わせ、自分の言葉で説明することができる。</p> <p>多様な存在が共生する社会の中で、自分ができること、やらなければいけないことについて考えることができる。</p> <p>多様な意見や立場、利害を把握した上で、グループ内の関係性構築に貢献できる。</p> <p>情報・資料の分析を通じて、物事を多面的に見ることにより、問題の新たな側面を発見することができる。</p>						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力		分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	<p>具体的には、ジェンダーに関する研究書等をもとにディスカッションを展開したり、世界が抱える、あるいは世界の国々が抱える課題について議論したり、群馬県や前橋市の男女共同参画行政に関する提言を考えたり、実際に街の中の課題を見に行ってみたり、してみることにします。</p> <p>よって、キャンパスの中でのゼミもあれば、地域フィールドワークを行うことや、まちなかでゼミをすることもあろうでしょう。さらに、そういった取り組みで世代をつなぐことも視野に入れ、高校生とのコラボ学習なども視野に入れます(これはゼミ生とよく相談して決めます)。</p>						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング			課題解決型学修	○	
受講条件 前提科目	ゼミ登録済の者						
アセスメントポリシー及び評価方法	<p>研究への取り組み姿勢(25%)+発表・提出物の内容(25%)+ディスカッションへの参画(25%)+その他のゼミ活動への参画(25%)</p> <p>また、上記の到達目標と対応する共愛12の力の獲得について、エビデンスを基に自己評価するポートフォリオを作成することが求められる。</p>						
教材	その都度に配布します。※テキストはありませんが、各資料や発表レジュメのコピーがかかります。また、必要に応じて、書籍を購入することもあります。						
参考図書	『ジェンダーで学ぶ社会学』『岩波講座 現代社会学(11)ジェンダーの社会学』						
内容・スケジュール	<p>最初は、主にジェンダーについて研究書を読み、その内容を報告し合い、その報告を基にディスカッションを展開します。</p> <p>次にSDGsのテーマとジェンダーを紐づけながら、各自が社会課題を設定し、その課題解決のための道筋を考えます。可能であれば、実際の政策等への提言も考えていきます。</p> <p>最終的には卒論のテーマ設定を行い、卒論作成のための資料検索・収集の方法や論文作成法についても学びます。</p>						

また、キャンパスの外で、実地に学ぶことも行います。
 授業外学修:発表の準備はほとんどが授業外に行われます。個人で、又はグループでしっかりと準備を進めましょう。さらに、学びを構築し、提供するような取り組みができればなおよいと考えています。

Number	SEM-3-004-ky	Subject	Junior Specialty Seminar II		
Name	大森 昭生 (Omori Akio)	Year and Semester	Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	O This is a seminar to study a gender concept. We research various problems in the world. And, at the same time, to make an area such as Gunma or Maebashi the livable town, we want to intend the making of gender equality society and the practicing the solution for social problem.				